

# 第30期第1回京都市社会教育委員会議の模様を マナビがレポート！～会議編～



平成23年8月10日（水）午後3時～5時，京都市生涯学習総合センター（京都アスニー）にて  
行われた，第30期第1回京都市社会教育委員会議において審議された内容をレポートします！

## ■開会 [井上議長]

### ■議事-1 会議の公開について

（事務局から）

- ・社会教育委員会議は原則として公開で，傍聴者を事前に募集しています。
- ・摘録について，概要という形で議題・議事の内容や議決事項等々を教育委員会のHPに掲載しています。



委員の了承を得ました！



### ■議事-2 第30期審議テーマ等について

（事務局から）

- ・審議テーマとして「『はばたけ未来へ！京（みやこ）プラン』の着実な推進」を提案します。
- ・京都市では10年間の市政運営の基本となる「はばたけ未来へ！京プラン」を生涯学習の指針として位置付けることとしています。生涯学習は幅広く，全ての要素に関わってくるものであり，全庁・全市をあげて取り組むものだからです。

ん？「はばたけ未来へ！京（みやこ）プラン」って，どんなプラン？京都市のHPを見よう♪

- ・29期では総論を検討しましたが，30期については各論として個々の具体的な取組等について提言をいただきたいと思います。次回は「規範意識」について討議を考えています。



### ○ 井上 満郎議長

「はばたけ未来へ！京プラン」はまだまだ定着しているとは言えませんが，各論として焦点をしばらくしながら討議してまいります。次回の討議テーマである「規範意識」は難しい言葉ですが，各分野から御意見いただければと思っています。

委員の了承を得ました！



### ■議事-3 京（みやこ）まナビミーティングについて

（事務局から）

- ・この会議は年4回の定例会議を行っていますが，広く市民に周知できていません。委員の方々には生涯学習の実践活動を体現しておられる方が多く，市民に発信するため「京まナビミーティング」を提案します。
- ・委員の方々による講演会や公開討議，学校などで特別授業を行い，学び続ける大切さを伝えます。子どもに限定せず大人も含めて，新しく楽しい学びの場を創造していただき会議の議論を深めることができたらと考えています。
- ・「京（みやこ）まナビネット」において，動画配信も検討しています。
- ・今後の案として「規範意識」をテーマに土井委員に京都市立紫竹小（京都法教育推進プロジェクトの法教育実践研究校）で講義いただき，第2回として，山科区地域女性連合会（会長：佐伯久子委員）の「市民スクール21事業」で通崎委員の講演会を考えています。社会教育委員会議とリンクする形で進めます。



○ 井上 満郎議長

社会教育委員会議は様々な分野の方がお集まりなので、市民の方々に公開し、広く市民に情報発信するのは良いこと。私は提供する側ですが、提供される市民の側からの御意見も含めていかがですか。



○ 佐伯 久子委員

女性会では一年に一度、地域の人も巻き込んでの大きな事業を各行政区ごと、各学区ごとで実施しています。今回、山科区全体の事業として、通崎委員に着物のコレクションのお話やマリンバの演奏をお願いし、快く引き受けていただいたところに、京（みやこ）まなびミーティングの事業の一つとしてはどうかという提案がありました。これをきっかけに、市民の皆さん、小中学校もPTAも巻き込んでできたらと思っています。



○ 西脇 悦子副議長

「市民スクール21」は、女性会で教育委員会の協力を得ながら、毎年学区・行政区単位で取り組んでいたもの。それがこの新規事業とリンクできると認識しました。委員の皆様方と地域で広げていけたらいいなとつくづく思っています。



○ 土井 真一委員

京都法教育推進プロジェクトに関わっていることもあり、今回の講演依頼をお受けしました。「規範意識」というと難しいですが、小学生には、約束はなぜ守らなければならないか、ルールはなぜ必要か、理由も考えずに「守れと言われたから、守らないといけない」と思いこむだけで十分かな？といったように砕いた話をしたいと思っています。



○ 井上 満郎議長

様々な形で社会教育委員の先生方が社会に向かうのは良いことです。



○ 通崎 睦美委員

動画配信についてはどうですか。実際の講演をライブ的に動画配信することについて委員はどのように考えているかを確認したいです。

ライブはライブで、そのときにその人の顔を見ながら話すということがあります。その後、公に配信されるとなると話すことが変わることがあります。委員共通の認識としての線引きは大事ではないでしょうか。

（事務局）

最初から最後まで全てを配信するわけではありません。動きがないとわかりにくいものを部分的に配信できたらと考えているので個々で考え、相談しながら進めたいと思います。



○ 茂山 千三郎委員

動画配信は、アーティストそれぞれ悩んでいる最中で、非常にデリケートな問題。私自身も、YouTubeなどにもどう対応していいかわからないし、もう抵抗できないと思っています。だからと言って自由に撮って自由に配信するのは困るし、主催者側の認識とルールを守れば、良いのではないのでしょうか。





### ○ 井上 章一委員

講演後に、録音していて広報誌に活字で載せたいのと原稿の修正をお願いされることがありますが、卑怯なやり方だと思います。事業を進める場合は、そういう仕組みになっていることを演者に予めお知らせし、可否を尋ねることを徹底していただければと思います。

動画については、私は41歳からピアノに取り組み出したのですが、ある時、ピアノを弾いている姿が勝手に配信されると聞いたとき、否定的な気持ちにならず、頬がほころんだ経験があります。しかし、それは一般的にはほめられたことではなく、プロの表現者には嫌がられるということを念頭に置いたほうが良いと思います。



### ○ 井上 満郎議長

微妙な問題で個人個人の権利に関わるものなので、マニュアルのようなものを整備するところから始める必要があると思います。

(事務局)

他の委員の皆様にも今後お願いしたいと考えております。一時間動画を撮ってすべてを配信するということは考えておらず、写真で説明できれば良いのですが、動画でないとうわかりにくいものは配信したいと考えております。



### ○ 小辻 寿規委員

動画について、私の所属している大学院では、研究会や自主ゼミなどにおいて、その場にいなくてもインターネットを使って見られるようにしています。制約の多い時代ですが、インターネットを使えばスマートフォン・携帯電話だけで動画が見られます。音楽作品などに関してはクオリティなどを守ることも重要になるので著作者への配慮が必要ですが、多くの方に見てもらいたい講演などに関しては、ユーストリームなどで全部を流す、もしくは、一時的に流してみるなど実験的なことを行い、その結果をふまえて十分に検討を行った上で、段階的にバリアフリー化を図っていくことが大事だと思います。



### ○ 土井 真一委員

著作権の観点から申しますと、動画配信の可否を決めるのは、基本的には著作者です。我々大学教員が自治体などで行う講演は基本的に社会貢献と受け止めているので、抵抗感が少ないのですが、アーティストの方の場合は、印税等の問題もあり、随分と状況が異なります。したがって、講演者御本人の意向に基づいて処理されるのが、法的に筋だと思います。



### ○ 吉川 左紀子委員

私のいるセンターでも、公開企画での講演をどう活かすかで議論になりますが、現在は、各講演者の希望にあわせてケースバイケースで判断するという形です。講演をユーストリームで配信しながら、ツイッターでコメントを同時に流したところ非常に好評で、講演者にも喜ばれました。新しいことは、まずやってみて少しずつ改善していくという試行錯誤が必要だと思います。数回やるうちにだんだんコツがわかってくる気がしています。



○ 野村 佳子委員

個人情報になると憶測のつかない部分があるので試行錯誤しながらのチャレンジしていくのが良いと思います。(全てを流してしまうと)悪質化したりするので探りながら小出しでもチャレンジしていくべきです。



○ 齊藤 修委員

基本的にはオープンが良いと思います。社会教育委員そのものがオープンであるべきです。個別に著作権の問題もあるのでその都度ルールを作っていく形が良いかと。

■議事-4 全国社会教育研究大会(京都大会)について

- ・全体会では大阪大学の鷲田総長の講演などが行われます。出席者については議長と相談しながら決定することになりました。

■報告1 生涯学習啓発パンフレット「あなたの学びをまちの力に！」について



- ・昨年度までのパンフレットでは、行政の施策の紹介に重きをおいており、市民が何をしたいかわからないという指摘があったので、実際に活動されている方のインタビューを交えながら紹介する形にして作成し完成したことを報告しました。

京都のまちを、わたくしマナビィが飛び回るかわいい表紙が目印のパンフレットは、市役所・区役所、図書館等にて絶賛配布中です！



■報告2 「京(みやこ)まナビネットについて」

- ・7月1日に生涯学習情報検索システム「京(みやこ)まナビネット」のリニューアルが完了し、生涯学習施設情報や生涯学習市民フォーラムの加盟団体の紹介欄等を新設しました。
- ・サイトの充実に向け、社会教育委員からの情報発信を依頼しました。「京まナビネットニュース」欄及び「おすすめイベント」欄に、委員からのメッセージ、書籍・CD・映画などのおすすめ情報、委員の関係するイベント等を掲載したいと考えています。

サイトは今後ますます充実予定！委員さんからのお知らせやメッセージも掲載していくので、チェックしてくださいね！



■報告3 京都市生涯学習市民フォーラム 総会・シンポジウムについて

- ・京都市生涯学習市民フォーラムは、生涯学習関係団体178団体からなるネットワーク組織で、加盟団体は大規模の団体から小さいNPO法人まで多岐にわたります。
- ・総会を11月11日(金)に開催。「しあわせ都市・京都(仮称)」をテーマに鼎談の形で、本フォーラムの会長の堀場雅夫氏(株堀場製作所最高顧問)、門川市長とともに、京都経済同友会の代表幹事の田辺親男氏をお迎えして行う予定です。

次回は市民の皆様が傍聴に来てくださるといいなあ…



■閉会 [井上議長]

次回開催は12月頃を予定しています。

■閉会挨拶

閉会に当たり、宮本昌昭生涯学習部長から挨拶がありました。

